

## 令和7年度 神奈川県小学生陸上競技春季交流記録会競技者注意事項

- 1 規 則 本大会は、2025年度日本陸上競技連盟競技規則を準用して実施する。ただし、児童である年齢を考慮した教育的配慮のもとに競技・運営をする。
- 2 練 習 練習は練習場または指定された場所を利用すること。
- 3 プロ訂正 プログラムのアスリートビブス(ナンバーカード)や氏名等に記載誤りがあった場合は、午前8時30分までに受付に申し出ること。
- 4 招 集 (1)招集所は、100mスタート地点後方に設ける。(朝の受付とは別になる)  
(2)出場者は自分の出場する種目ごとに、プログラム記載の招集時間内に招集所で自分の名前にチェックし、トラック競技出場者はレーン表示腰ナンバーカードを受け取り、右腰後方に付ける(安全ピンは各自で用意する)。コンバインドは、種目毎に、その都度招集を行う。  
(3)招集時間はトラック種目：競技開始35分前から20分前まで、フィールド種目：競技開始45分前から30分前まで。時間に遅れないようにすること。  
その後、競技者係審判員の指示に従って待機すること。
- 5 退 場 競技役員の指示に従って退場すること。
- 6 アスリートビブス  
(1)アスリートビブスは受付時に配布する。また、競技終了後帰りに、アスリートビブスはナンバー順にそろえて、代表者が受付に必ず返却する。  
(2)安全ピン(1名につきトラック種目出場者は12本必要)は個人またはチームで用意すること。  
(3)アスリートビブスは胸と背に配布時の状態で、1枚ずつ確実につけること。  
(4)トラック種目出場者は腰ナンバーカードを腰部分の体側右後方につけること。  
\* 腰ナンバーカード(レーン番号)は招集所にて配布。各レース後普及部員が回収する。
- 7 リレー競技  
リレー競技に出場するチームは「リレーオーダー用紙」1部を、招集完了60分前までに招集所(100mスタート側スタンド下)に、提出すること。チーム責任者は忘れずに。なお、リレーオーダー用紙はプログラムに付いている(提出も同じ場所)。リレーのオーダーは、申し込んだリレーチームのメンバーの中からのみの編成とする。
- 8 競技方法 (1)計 時 トラック種目は写真判定で行う。  
(2)リレー 次走者のバトンの受け渡しは、30mのリレーゾーン内で行う。次走者はゾーンの中でスタートしなければならない。男女の走る順序は自由とする。  
(3)スタート ①トラック種目は、クラウチングスタートとする。スターティングブロックは使用しなくても良い。  
但し、3・4年生については、スタンディングスタートも認める。  
②スタートの合図はイングリッシュコールで行う。同じ競技者が2回不正スタートをした場合、その競技者は失格とし、オープン参加として走る。  
(4)スパイクの使用を認める。(トラック7mm以下、フィールド9mm以下)。  
スパイクは使用しなくともよい。競技用シューズについての規則(靴底規則)は適用しない。なお、素足での出場は認めない。雨天時はスパイクの使用が望ましい。  
(5)走幅跳・ジャベリックボール投(コンバインドB)  
①試技は2回とする。  
②2ラウンド試技で行う。  
③ジャベリックボールは、競技場で準備されたものを使用する。個人の持ち込みは不可。やり投げ用ピットを使用し、助走は15m以内とする。

競技場に準備してある炭酸マグネシウムをボールの先端につけてボール本体を持ちオーバーハンドスローで投げること。

(6) 走高跳 (コンバインドA)

① 跳躍方法は「はさみ跳び」で行う。着地は必ず足裏から着地すること。足裏から着地できない場合は無効試技とする。

② 試技は各高さ2回連続で失敗したら競技終了とする。

③ バーの上げ方は、次のとおりとする。(男女同じ)

④ 走高跳びのバーの上げ方

練習は1m00で行う。試技は1m00から行い、以降5cm刻みで上げていく。

1m35まで5cm刻みで上げ、それ以後は3cm刻みで上げる。

(7) 80mH (コンバインドA)

小学生用ハードルを使用し、下記の規定で行う。

スタートから第1ハードル	ハードルの高さ	ハードル間の距離	台数	最終ハードルからフィニッシュ
13m	70cm	<b>7m00cm</b>	9台	11m00cm
0m ~13m	~20m ~27m ~34m	~41m ~48m	~55m ~62m ~69m	~80m